

はまなす句会（六月二十九日）（第一百十二回）

たくましき草の香となり明易き

圭二

夾竹桃風の抜け道花こぼし

菊枝

野も山も息吹きかえす梅雨の入り

由美子

雨あがりさらに色映え青田かな

久子

寄り添うる人生ありぬ蓮の花

克司

ほどほどの仕上がり願ひ梅漬ける

玲子

紫陽花の眠気の覚める雨となり

則子

